

地球温暖化防止・省エネルギーについて
の市民・事業者アンケート調査報告書

令和3年3月
茅ヶ崎市

目 次

1 調査の概要	1
1-1 市民アンケート調査.....	1
(1) 目的.....	1
(2) 調査地域.....	1
(3) 調査対象.....	1
(4) 抽出方法.....	1
(5) 調査期間.....	1
(6) 調査方法.....	1
(7) 回収状況.....	1
(8) 調査項目.....	1
1-2 事業所アンケート調査.....	2
(1) 目的.....	2
(2) 調査地域.....	2
(3) 調査対象.....	2
(4) 抽出方法.....	2
(5) 調査期間.....	2
(6) 調査方法.....	2
(7) 回収状況.....	2
(8) 調査項目.....	2
2 市民アンケート調査の結果	4
2-1 回答者自身について.....	4
(1) 年齢.....	4
(2) 居住年数.....	4
(3) 居住地域.....	5
(4) 住居の形態.....	5
(5) 世帯人数・構成.....	6
(6) 家にいる時間.....	7
(7) 主な交通手段.....	7
2-2 普段の環境活動について.....	8
2-3 地球温暖化対策について.....	11
(1) 家庭内で実践している取り組み.....	11
(2) 温暖化対策機器・設備の導入状況.....	12
(3) 市が重点的に進めるべきだと思う施策.....	14
2-4 気候変動への適応の取り組みについて.....	16
3 事業者アンケート調査の結果	22
3-1 事業所について.....	22
(1) 業種.....	22
(2) 従業員規模.....	22
(3) 所在地.....	23
(4) 建物の形態.....	23

(5) 事業年数	24
3-2 事業所の環境活動について.....	25
(1) 日常業務で実施している環境配慮活動.....	25
(2) 地域の環境のための取り組み.....	27
(3) 環境活動の課題.....	28
3-3 事業所の地球温暖化対策への取り組みについて	29
(1) 地球温暖化防止対策の実践状況.....	29
(2) 地球温暖化防止機器や設備などの導入状況.....	30
3-4 茅ヶ崎市の環境・市政について	32
(1) 市が重点的に進めるべき地球温暖化対策.....	32
(2) 望ましい市からの情報提供.....	33
3-5 気候変動への適応の取り組みについて	34
(1) 気候変動への適応の認知度.....	34
(2) 熱中症対策の実践状況.....	35
(3) 熱中症対策の具体的な取り組み.....	36

1 調査の概要

1-1 市民アンケート調査

(1) 目的

市では、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境施策の基本方針となる「茅ヶ崎市環境基本計画」を策定しています。このたび、現計画の期間が満了を迎えるため、計画期間を令和3(2021)年から令和12(2031)年に定めた、新たな「茅ヶ崎市環境基本計画」を策定します。本調査は市民の皆様に、茅ヶ崎市の環境の満足度や課題などをお伺いし、新たな「茅ヶ崎市環境基本計画」に反映することを目的として実施しました。

(2) 調査地域

茅ヶ崎市全域

(3) 調査対象

茅ヶ崎在住の満16歳以上の男女2,000人

(4) 抽出方法

「住民基本台帳」からの無作為抽出

(5) 調査期間

令和2年10月2日から令和2年10月24日

(6) 調査方法

郵送により調査票を配布、回収

(7) 回収状況

配布数 2,000、有効回収数 946、有効回収率 47.3%

(8) 調査項目

- ① 回答者自身について
- ② 普段の環境活動について
- ③ 地球温暖化対策について
- ④ 気候変動への適応の取り組みについて

1-2 事業所アンケート調査

(1) 目的

市では、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境施策の基本方針となる「茅ヶ崎市環境基本計画」を策定しています。このたび、現計画の期間が満了を迎えるため、計画期間を令和3(2021)年から令和12(2031)年に定めた、新たな「茅ヶ崎市環境基本計画」を策定します。本調査は事業者の皆様へ、茅ヶ崎市の環境の満足度や課題などをお伺いし、新たな「茅ヶ崎市環境基本計画」に反映することを目的として実施しました。

(2) 調査地域

茅ヶ崎市全域

(3) 調査対象

市内の1,000事業所

(4) 抽出方法

茅ヶ崎市内の商工会議所の会員から無作為に抽出

(5) 調査期間

令和2年10月2日から令和2年10月24日

(6) 調査方法

郵送により調査票を配布、回収

(7) 回収状況

配布数1,000、有効回収数367、有効回収率36.7%

(8) 調査項目

- ① 事業所について
- ② 事業所の環境活動について
- ③ 事業所の地球温暖化対策への取り組みについて
- ④ 茅ヶ崎市の環境・市政について
- ⑤ 事業所の気候変動への適応の取り組みについて

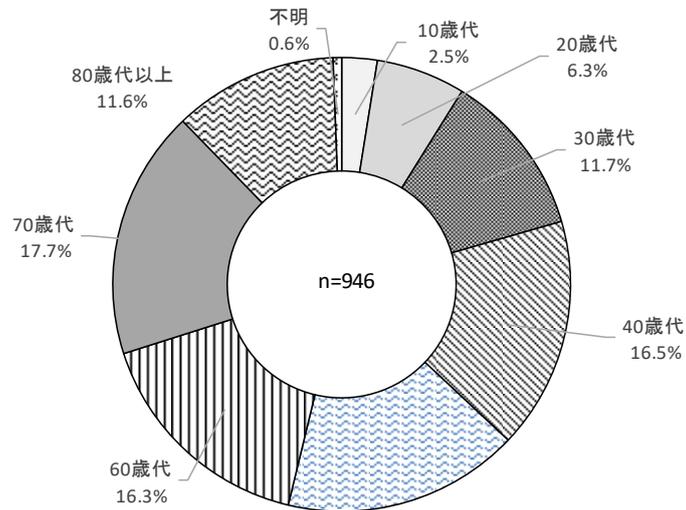
本報告書の留意点

- ・回答結果は、小数点第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析、グラフ、表においても反映しています。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数（回答数）を示しています。
- ・全問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問の回答割合は、層化された回答者を基数として算出しています。
- ・文中では選択肢（変数）を「 」で示しています。選択肢の文章が長い場合は、一部省略したところがあります。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示しています。
- ・無回答、指定数以上の選択肢に解答している場合、記入の判断が困難な場合を「不明」としています。

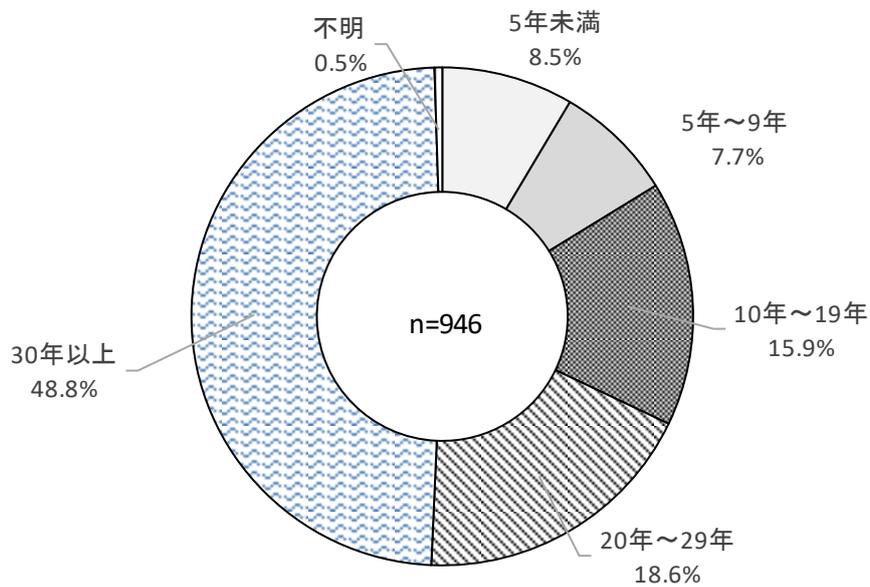
2 市民アンケート調査の結果

2-1 回答者自身について

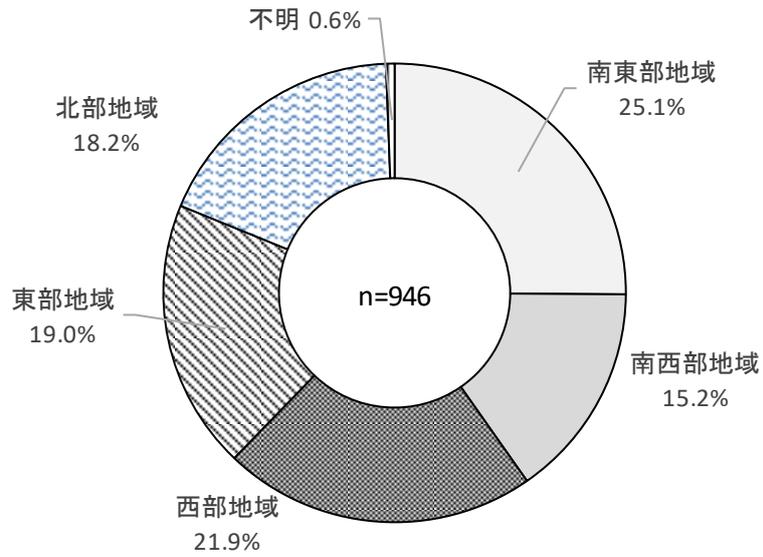
(1) 年齢



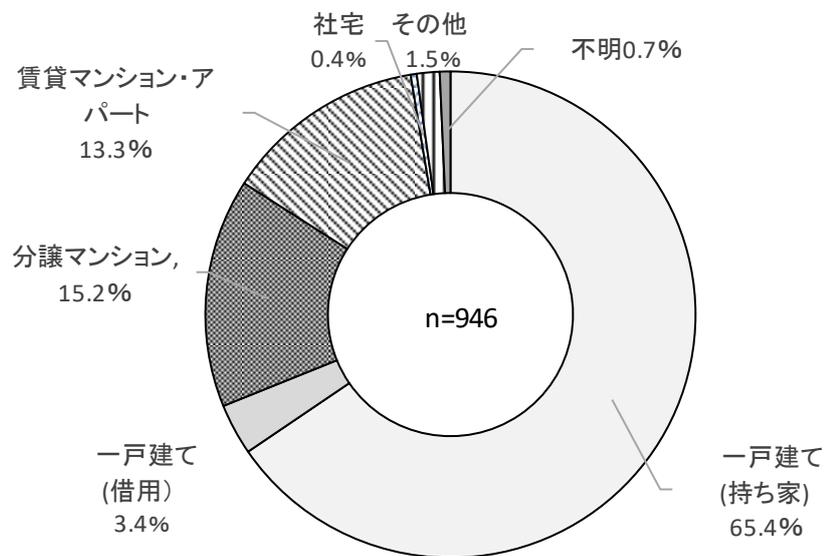
(2) 居住年数



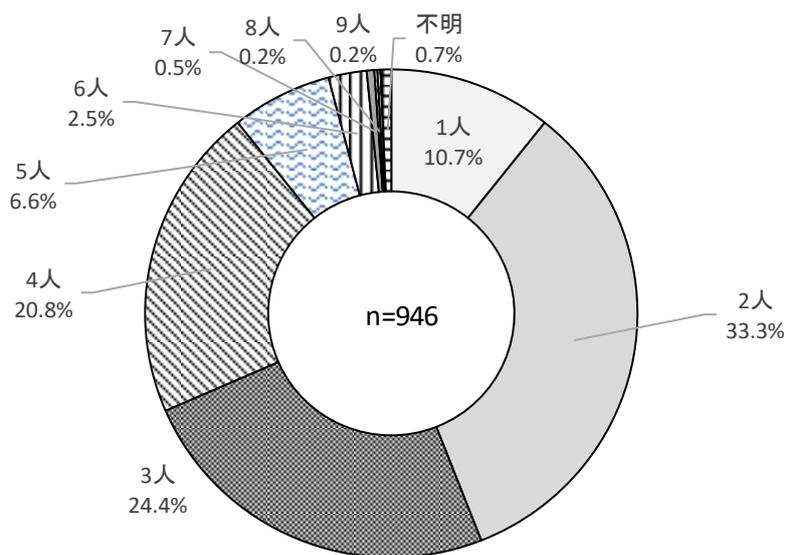
(3) 居住地域



(4) 住居の形態

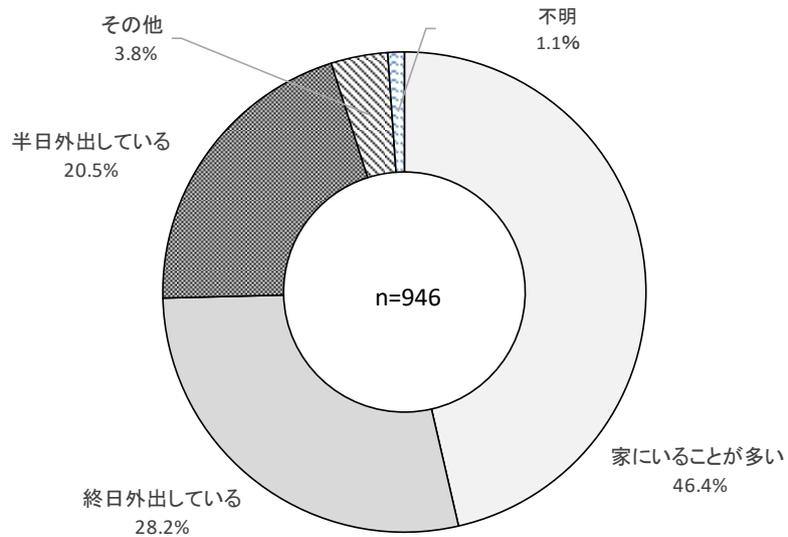


(5) 世帯人数・構成

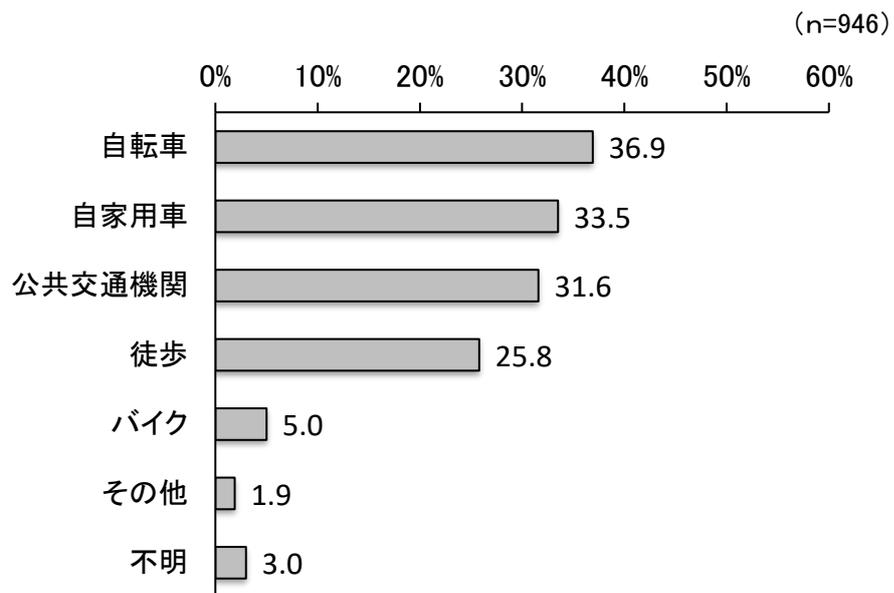


人数	世帯構成
1人	単身
2人	夫婦、親子、兄弟、単身同居
3人	夫婦と子、夫婦と親、夫婦と兄弟、親子
4人	夫婦と子、夫婦と親、夫婦と兄弟、親子、三世代同居
5人	夫婦と子、夫婦と親、夫婦と兄弟、親子、三世代同居、二世帯同居
6人	夫婦と子親子、三世代同居、二世帯同居
7人	二世帯同居、三世代同居
8人	夫婦と子、シェアメイト
9人	二世代・三世代同居、夫婦と子

(6) 家にいる時間



(7) 主な交通手段



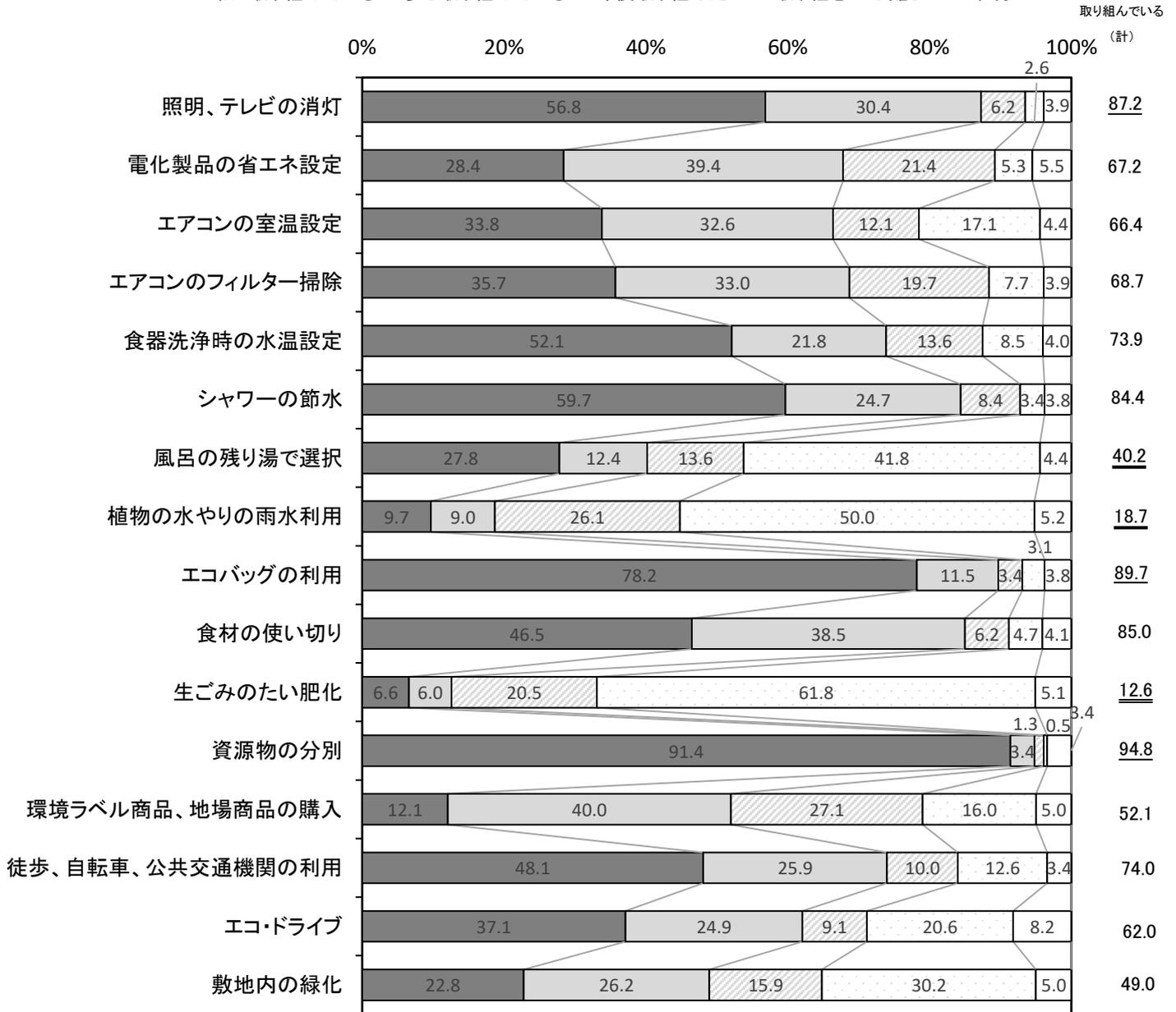
2-2 普段の環境活動について

問8 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。
また、「取り組むのは難しい」と回答した箇所については、取り組むのは難しい理由として最もあてはまるものを、下欄から選び番号を記入してください。

環境について、普段取り組んでいることを聞いたところ、常に取り組んでいると回答した割合は、「資源物の分別」が91.4%と最も高く、次いで、「エコバッグの利用」が78.2%となっています。「少し取り組んでいる」を含めた『取り組んでいる（計）』では、上記以外で「照明、テレビの消灯」「食器洗浄時の水温設定」「シャワーの節水」「食材の使いきり」「徒歩、自転車、公共交通機関の利用」が7割以上となっています。

一方、取り組むのは難しいと回答した割合は、「生ごみのたい肥化」が61.8%と最も高く、次いで「植物の水やりの雨水利用」(50.0%)、「風呂の残り湯で洗濯」(41.8%)となっています。これらの取り組むのは難しい理由を聞いたところ、「生ごみのたい肥化」及び「植物の水やりの雨水利用」については、「手間がかかる」「自分には該当しない」が、「風呂の残り湯で洗濯」は「手間がかかる」「生活の快適さが損なわれる」が高い割合となっています。

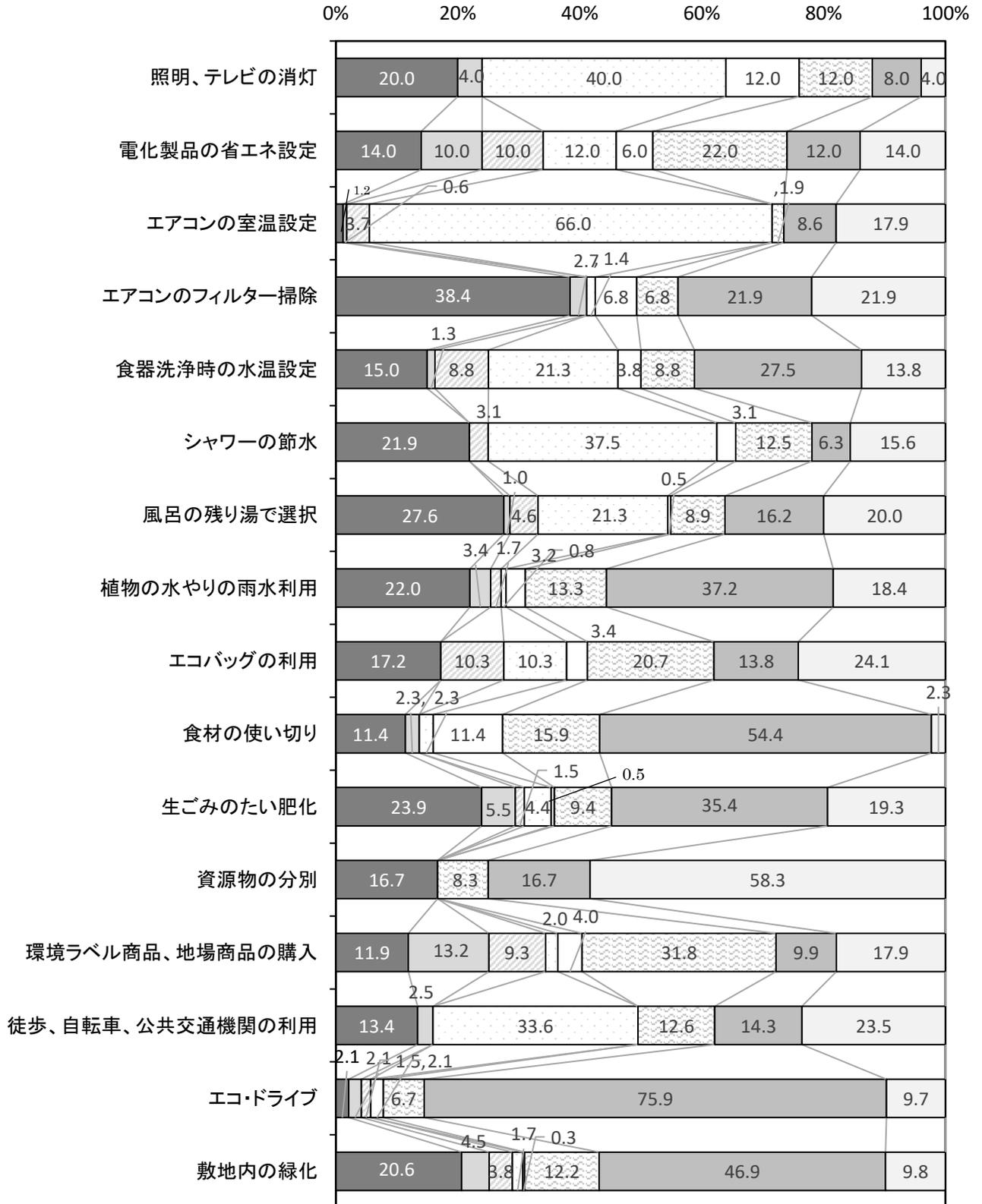
■常に取り組んでいる □少し取り組んでいる ▨今後取り組みたい □取り組むのは難しい □不明



『取り組んでいる(計)』:「常に取り組んでいる」「少し取り組んでいる」の合計

【取り組むのは難しい理由】

- 手間がかかる
- コストがかかる
- 効果がわからない
- 生活の快適さが損なわれる
- 忘れてしまう
- 特に理由はない
- 自分には該当しない
- 不明

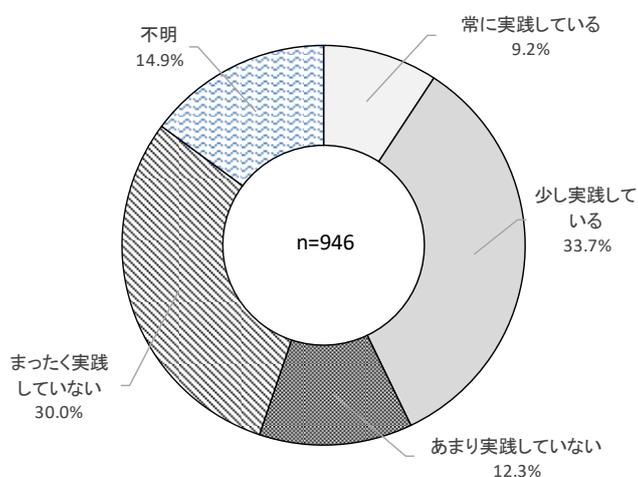


2-3 地球温暖化対策について

(1) 家庭内で実践している取り組み

問9 あなたは、家庭内で省エネルギーなど地球温暖化防止への取り組みを実践していますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

家庭内での地球温暖化防止への取り組み状況を聞いたところ、「常に実践している」が12.6%、「少し実践している」が46.0%となっており、半数以上が何かしらの取り組みを実践していました。



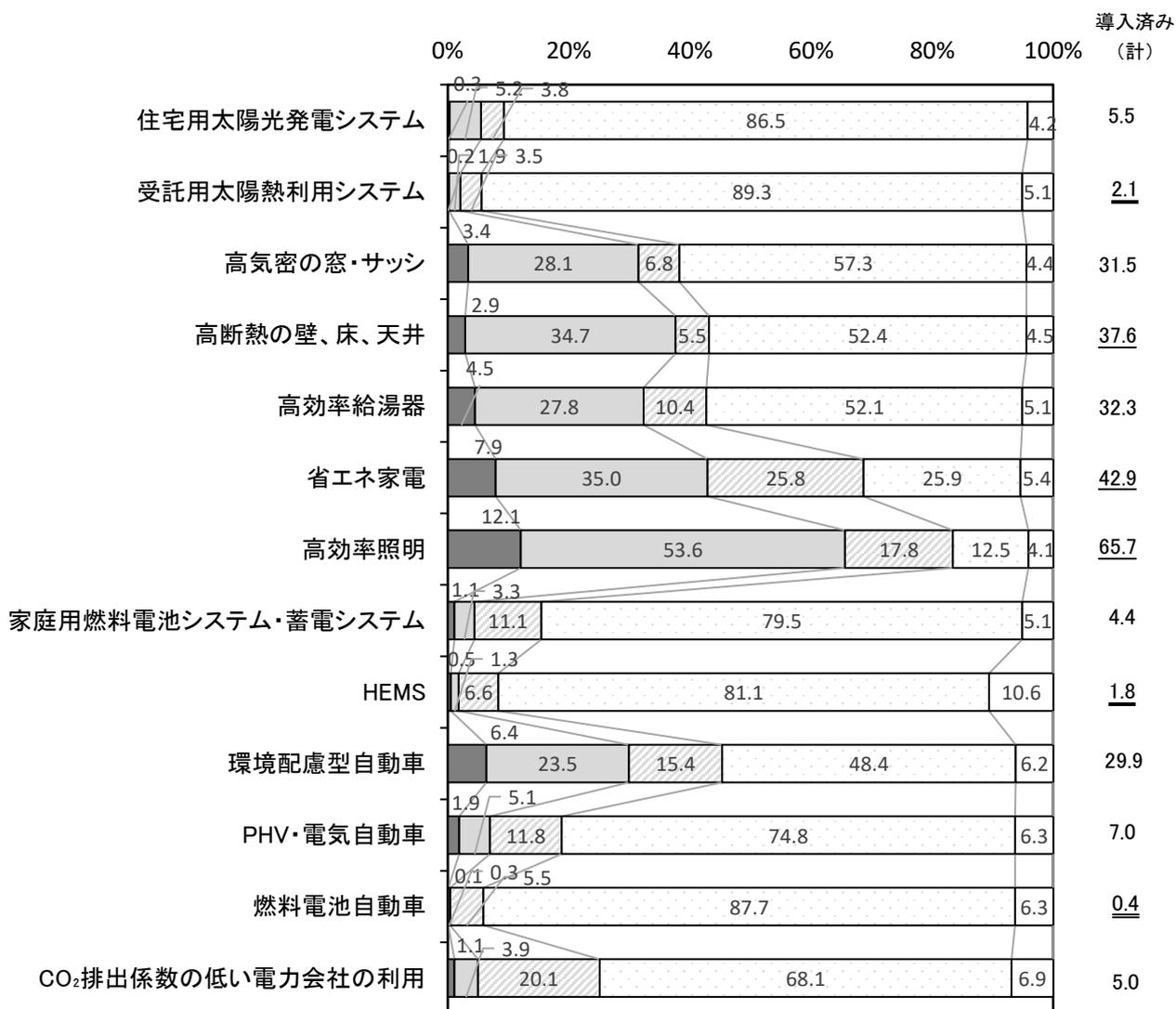
『実施している(計)』:「常に実施している」「少し実施している」の合計

(2) 温暖化対策機器・設備の導入状況

問 10 地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。また、「導入予定はない」と回答した箇所については、その理由として最も当てはまるものを下欄から選び番号を記入してください。

地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を聞いたところ、『導入済（計）』と回答した割合は、「高効率照明」が65.7%と最も高く、次いで「省エネ家電」（42.9%）となっています。

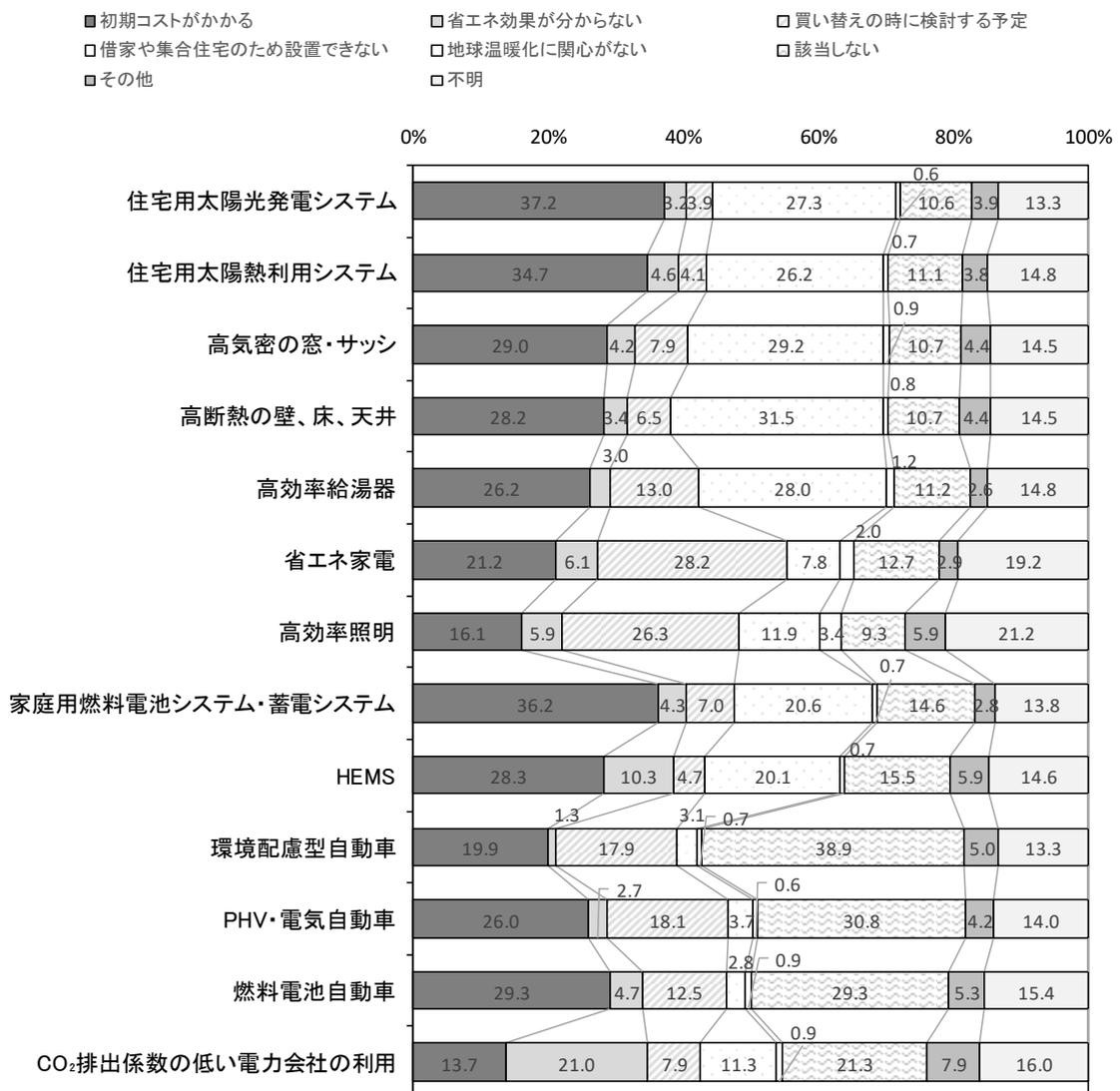
■ 令和元年度中に導入 □ 平成30年度以前に導入 □ 導入検討中(予定含む) □ 導入予定はない □ 不明



『導入済（計）』：「令和元年度中に導入」「平成30年度以前に導入」の合計

【導入予定がない理由】

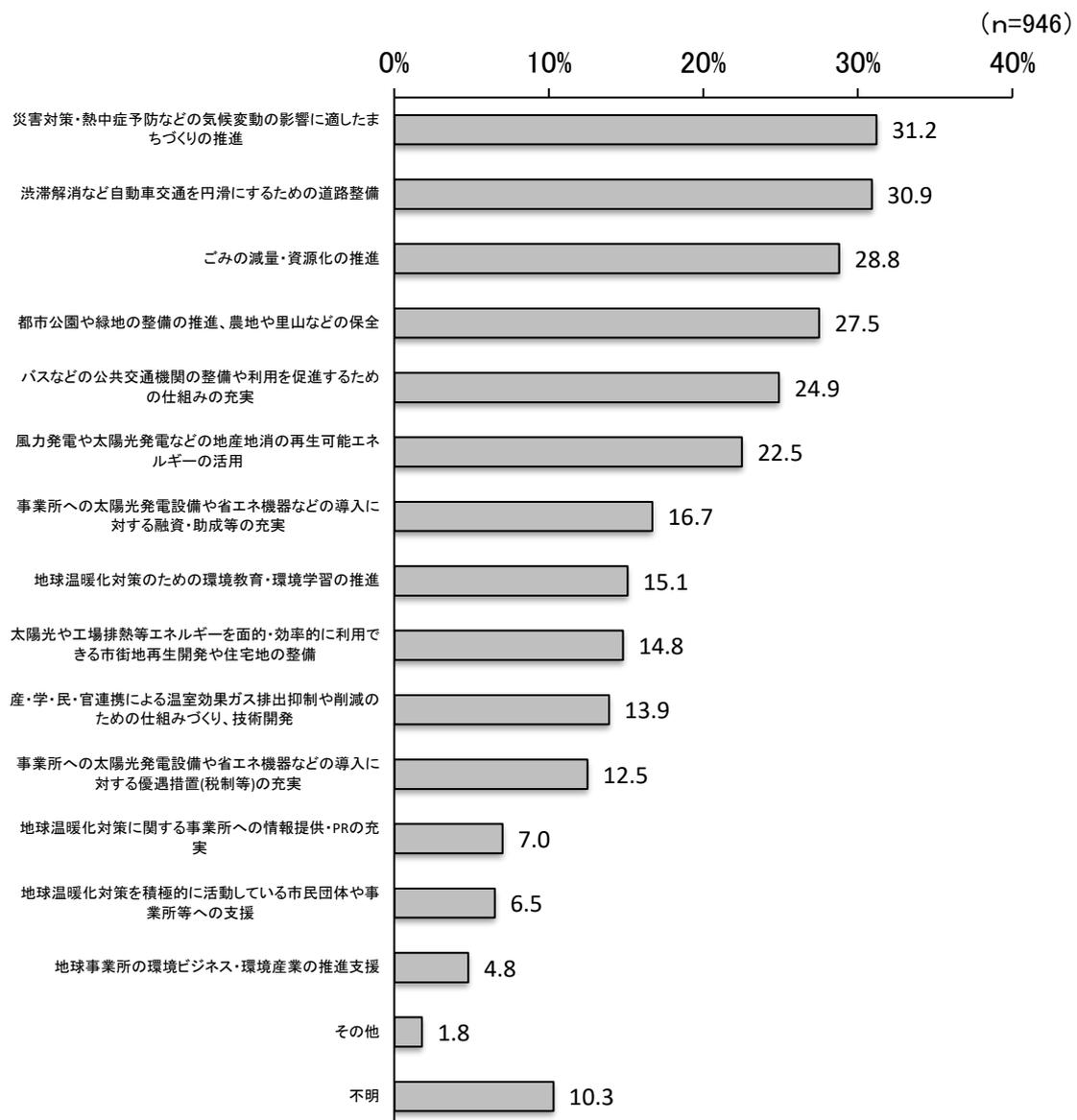
導入予定がない理由は、「CO₂排出係数の低い電力会社の利用」以外の機器・設備に対して「初期コストがかかる」の割合が高く（16.1～37.2%）を占めています。初期コスト以外の理由では、「住宅用太陽光発電システム」「住宅用太陽熱利用システム」「高密度の窓・サッシ」「高断熱の壁、床、天井」「高効率給湯器」「家庭用燃料電池システム・蓄電システム」「HEMS」については、「借家や集合住宅のため設置できない」の割合が高く（20.1～31.5%）、「省エネ家電」「高効率照明」については「買い替えのときに検討する予定」の割合が高く（26.3～28.2%）、「環境配慮型自動車」「PHV・電気自動車」「燃料電池自動車」については、「該当しない」の割合が高い（29.3～38.9%）となっています。



(3) 市が重点的に進めるべきだと思う施策

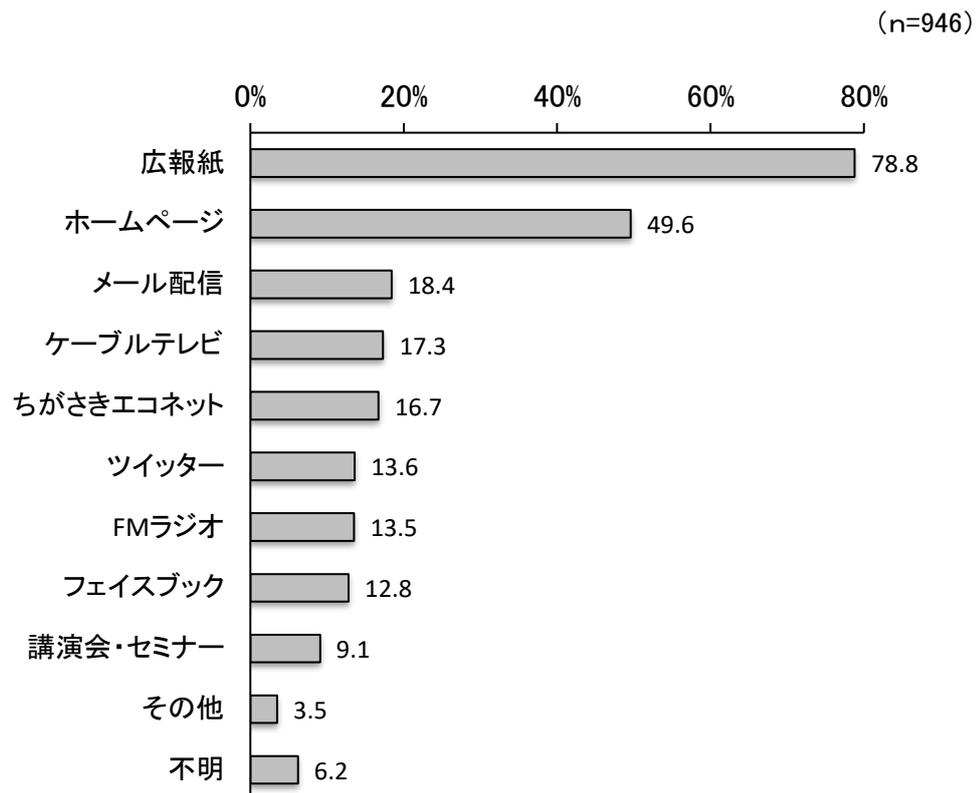
問 1 1 地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策はどれですか。
あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策を聞いたところ、「災害対策・熱中症予防などの気候変動の影響に適したまちづくりの推進」が31.2%と最も高く、次いで、「渋滞解消など自動車交通を円滑にするための道路整備」(30.9%)、「ごみの減量・資源化の推進」(28.8%)となっています。



問 12 今後、地球温暖化対策に関する知識や情報について、市からどのような媒体を使用して情報提供を行うとわかりやすいですか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

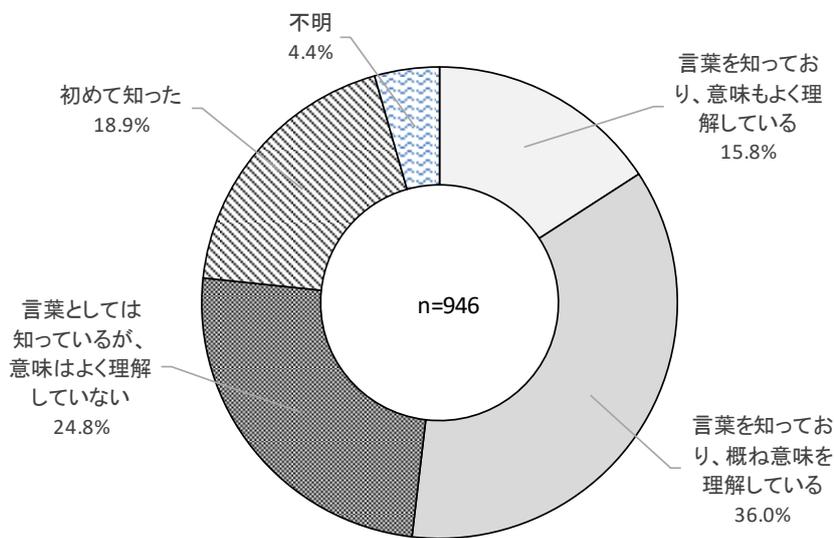
地球温暖化対策に関する知識や情報についてどのような媒体を使用して情報提供を行うことがわかりやすいか聞いたところ、「広報紙」が 78.8%と最も高く、次いで、「ホームページ」(49.6%)、メール配信 (18.4%) となっています。



2-4 気候変動への適応の取り組みについて

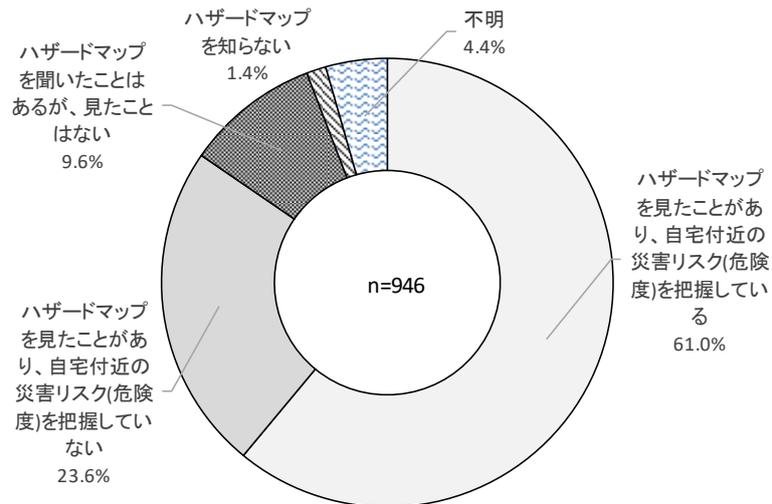
問 13 あなたは、気候変動への適応という言葉とその内容を知っていましたか。
あてはまる番号を1つだけ選んで、○で囲んでください。

気候変動への適応という言葉とその内容について聞いたところ、「言葉を知っており、意味もよく理解している」(15.8%)、「言葉を知っており、概ね意味を理解している」(36%)の合計は 51.6%となっており、およそ半数が言葉とその内容を知っているということになっています。



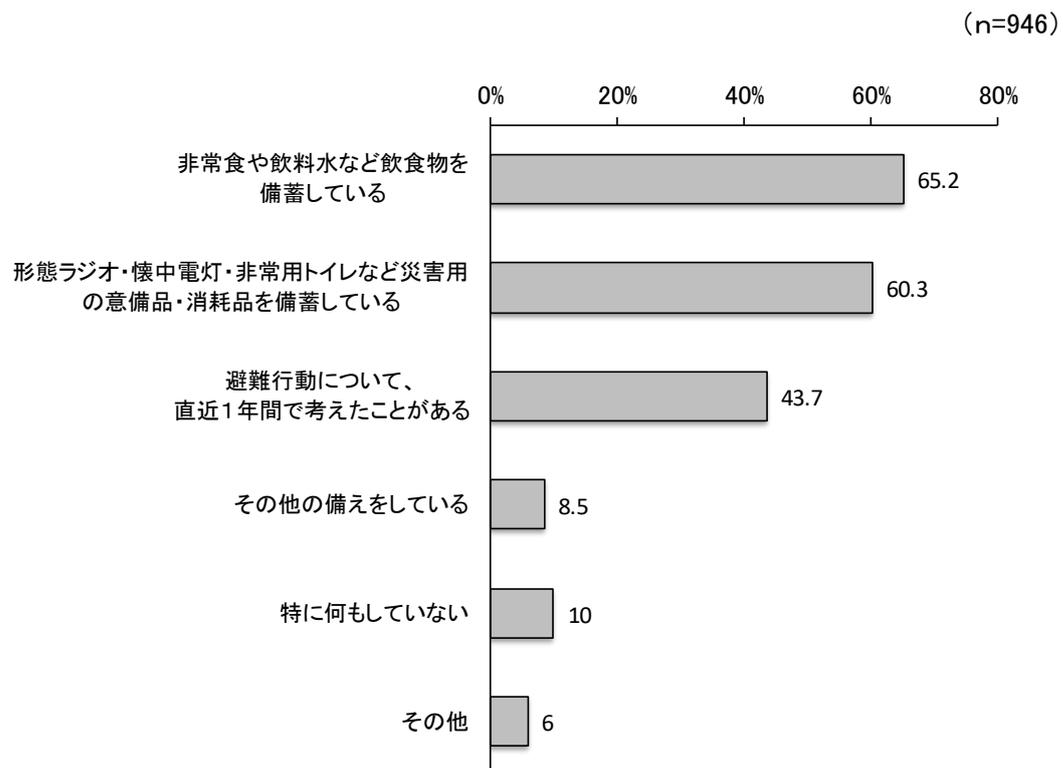
問 14 あなたは、自宅付近のハザードマップ（被害予測地図）を見たことがありますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

自宅付近のハザードマップを見たことがあるか聞いたところ、「ハザードマップを見たことがあり、自宅付近の災害リスク（危険度）を把握している」は、61.0%となっており、半数以上が自宅付近の災害リスクを把握しているということになっています。



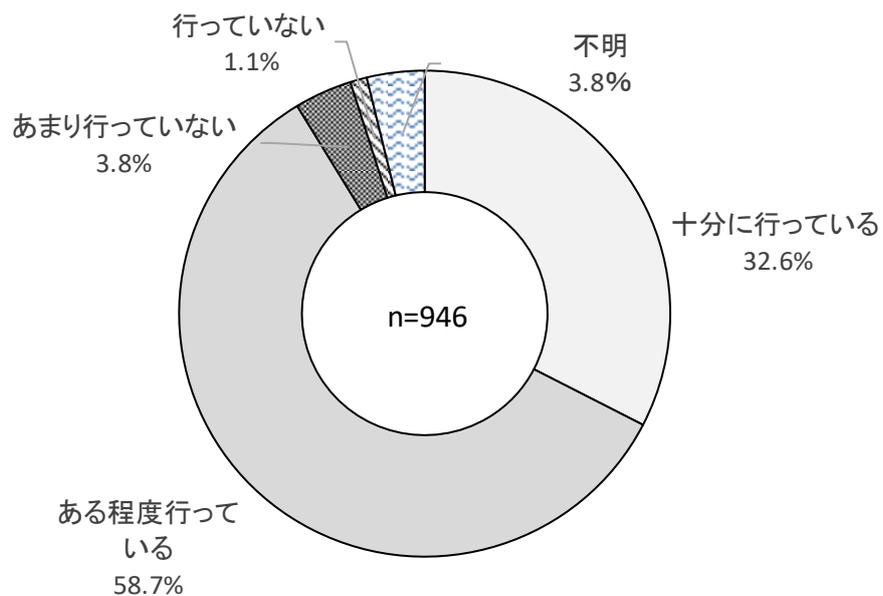
問 15 あなたは、現在、災害に対してどのような備えをしていますか。あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

災害に対してどのような備えをしているか聞いたところ、「非常食や飲料水など飲食物を備蓄している」(65.2%)、「携帯ラジオ・懐中電灯・非常食トイレなど災害用の備品・消耗品を備蓄している」(60.3%)となっており、備蓄を重要視している方が多いことがわかります。



問 16 あなたは、暑い時期に熱中症対策を行っていますか。
あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

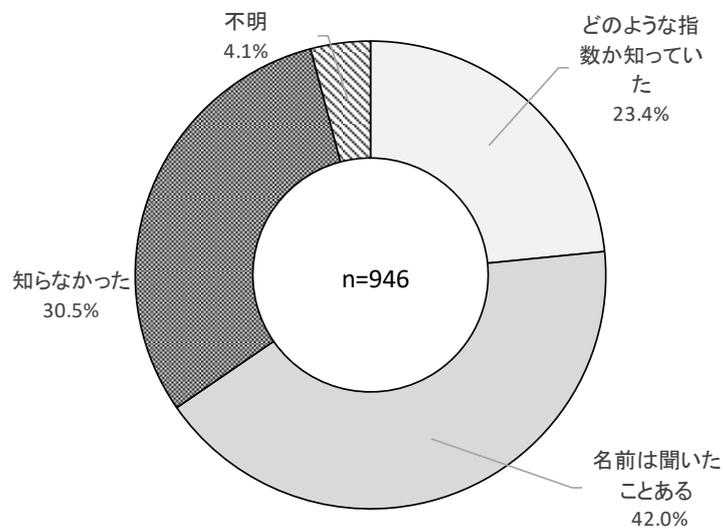
熱中症対策を行っているか聞いたところ、熱中症対策を「十分に行っている」(32.6%)、「ある程度行っている」(58.8%)と、熱中症対策を行っていると回答した合計は、91.4%となっており、ほとんどの方がある程度熱中症対策を行っていることがわかります。



『行っている(計)』:「十分に行っている」「ある程度行っている」の合計

問 17 環境省と気象庁では、関東甲信地方を対象に熱中症予防対策に効果的な情報発信として、「暑さ指数 (WBGT)」を基準とした「熱中症警戒アラート」を先行的に実施しています。あなたは、「暑さ指数 (WBGT)」について知っていますか?あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

「暑さ指数 (WBGT)」について知っているか聞いたところ、「暑さ指数 (WBGT)」について、「どのような指数か知っていた」(23.4%)、「名前は聞いたことがある」(42.0%)、「知らなかった」(30.5%)となっています。「暑さ指数 (WBGT)」についての認知度は65.4%ですが、「どのような指数か知っていた」と回答したのは約2割ということが分かりました。内容まで知っているという割合は低いことがわかります。

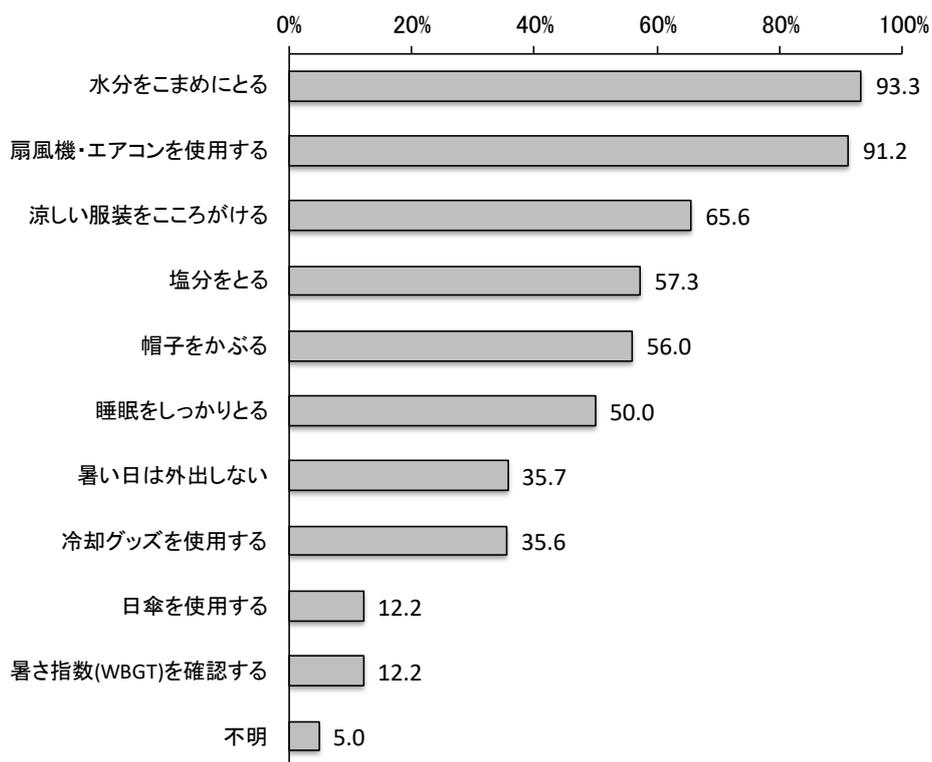


『知っている(計)』:「どのような指数か知っていた」「名前を聞いたことがある」の合計

問 18 熱中症対策についてどのような取り組みをしていますか。
あてはまる番号をすべて選んで○で囲んでください。

熱中症対策について、「水分をこまめにとる」(93.3%)、「塩分をとる」(91.2%)が高くなっています。「暑さ指数を確認する」(12.2%)は、低い割合となっており、問 17 の結果からもわかるとおり、暑さ指数の認知度は約 6 割であるものの、実際に活用している割合は低いことがわかります。

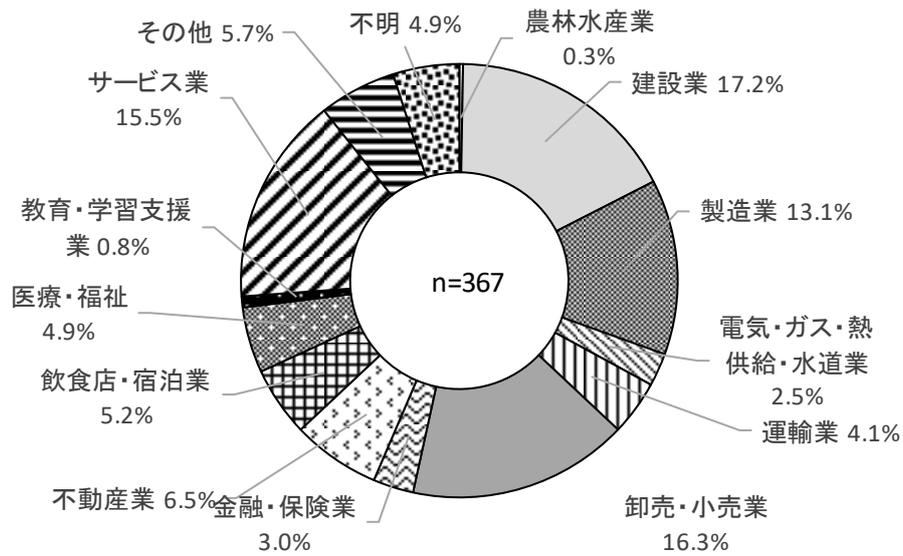
(n=946)



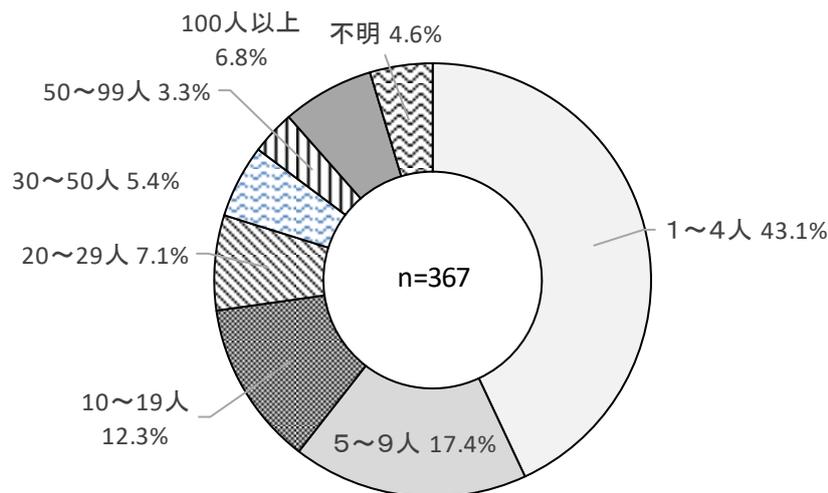
3 事業者アンケート調査の結果

3-1 事業所について

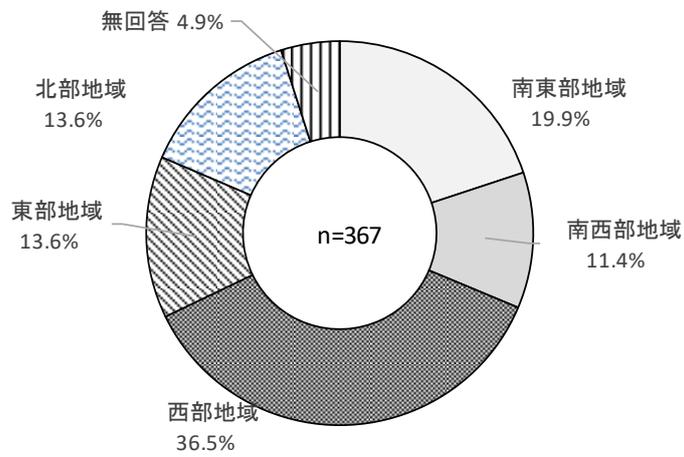
(1)業種



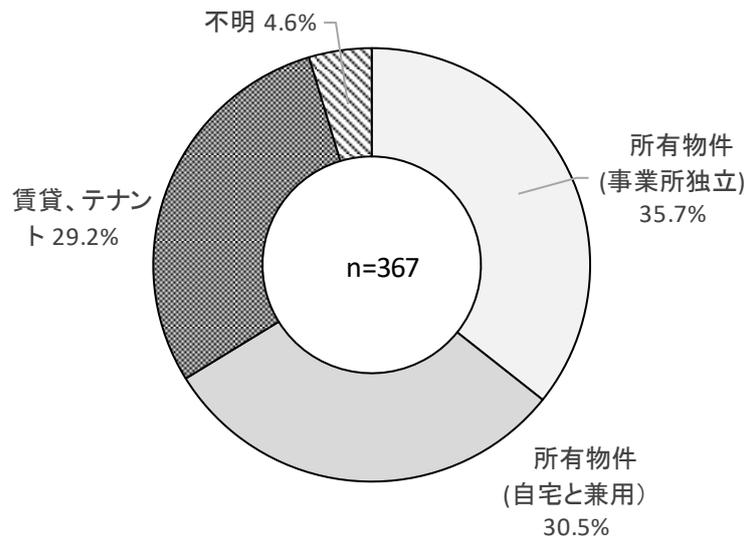
(2)従業員規模



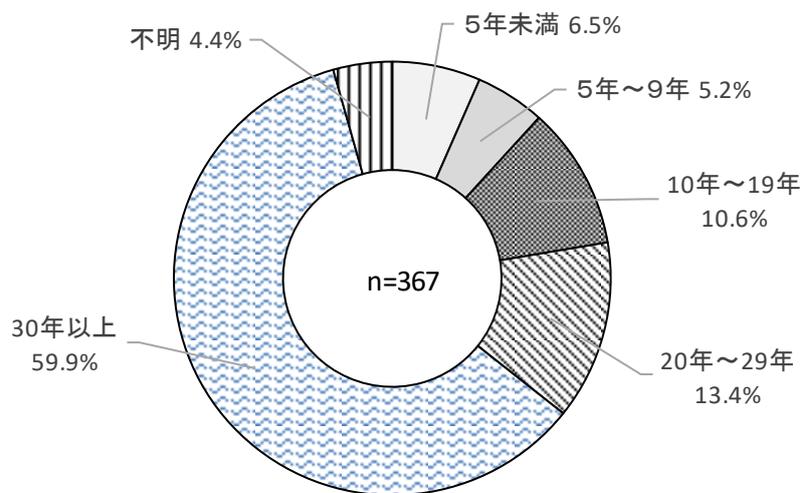
(3)所在地



(4)建物の形態



(5)事業年数

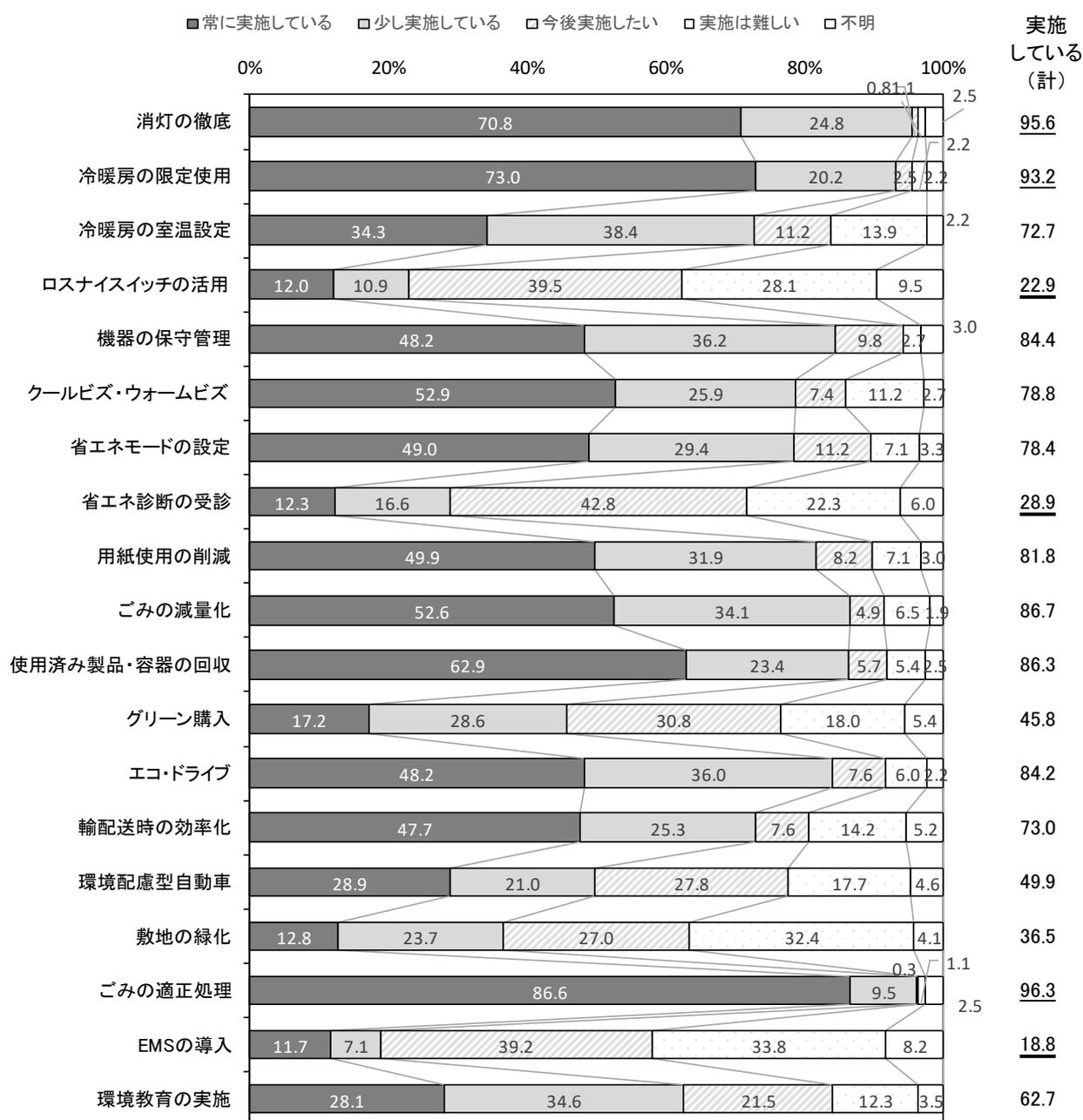


3-2 事業所の環境活動について

(1) 日常業務で実施している環境配慮活動

問6 貴事業所では、日常業務の中で、どのような環境配慮のための活動を実施していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。また、「実施は難しい」と回答した箇所については、実施は難しい理由として最も当てはまるものを下欄から選び番号を記入してください。

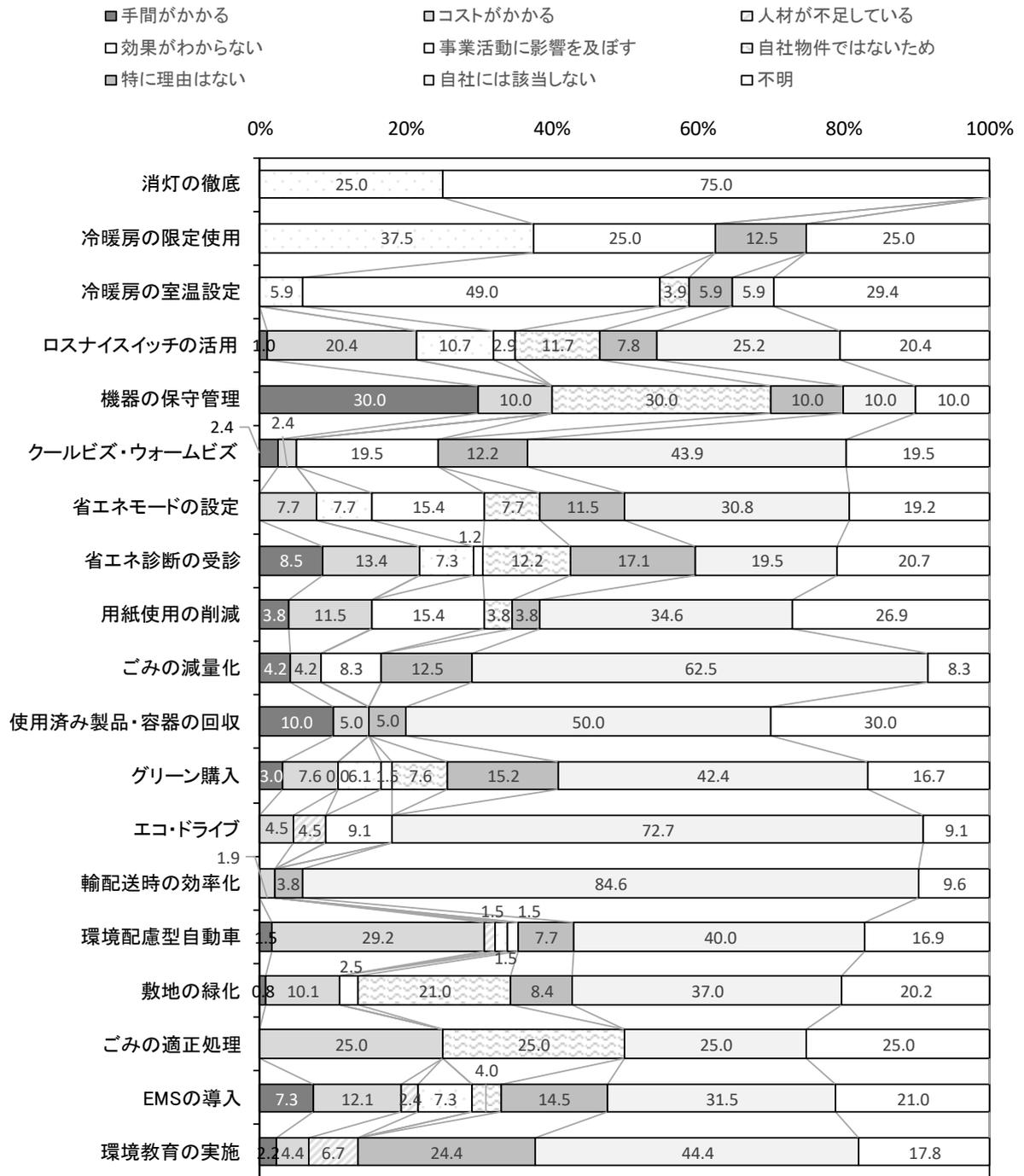
日常業務の中で実施している環境配慮のための活動について聞いたところ、『実施している(計)』で「消灯の徹底」「冷暖房の限定使用」「ごみの適正処理」が9割以上となっています。一方、割合が低い活動は「EMSの導入」(18.8%)、「ロスナイスイッチの活用」(22.9%)、「省エネ診断の受診」(28.9%)となっています。



『実施している(計)』:「常に実施している」「少し実施している」の合計

【導入予定がない理由】

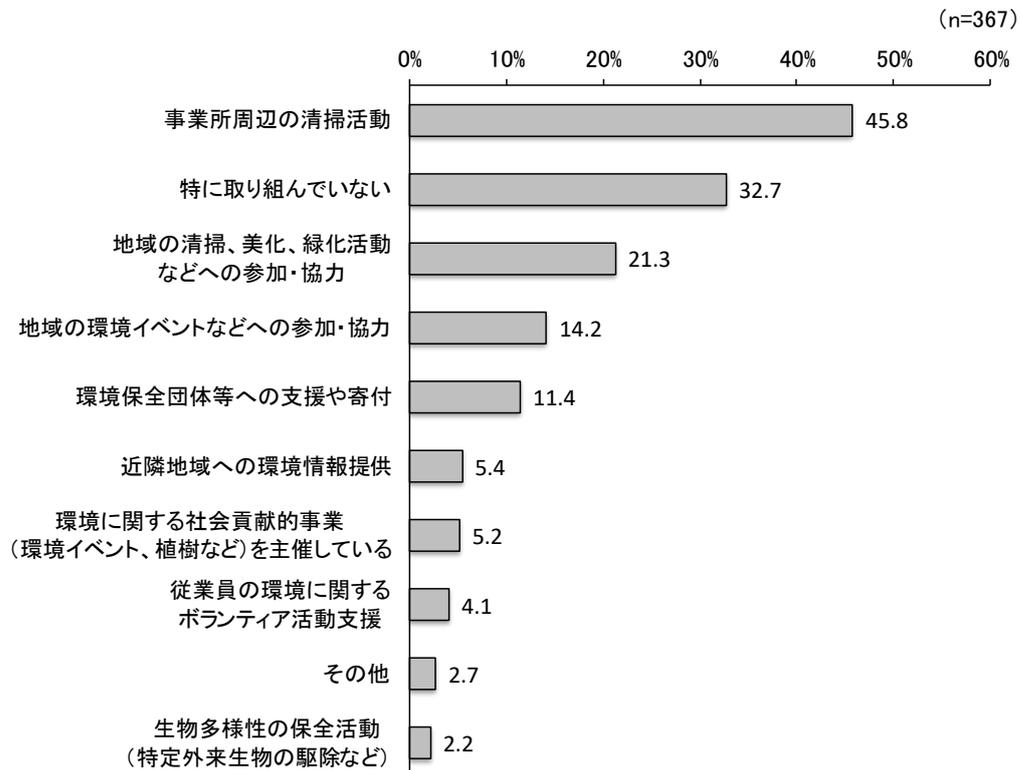
3割以上の事業者が実施は難しいと回答した活動は、「敷地の緑化」「EMSの導入」で、難しい理由としては、「自社物件ではない」(4.0%~21.0%)「特に理由はない」(8.4%~14.5%)「自社には該当しない」(31.5~37.0%)を除くと、「コストがかかる」(10.1%~12.1%)が高い割合となっています。



(2)地域の環境のための取り組み

問7 貴事業所では、地域社会の一員として、地域の環境のためにどのような取り組みをしていますか。あてはまる番号をすべて○で囲んで下さい。

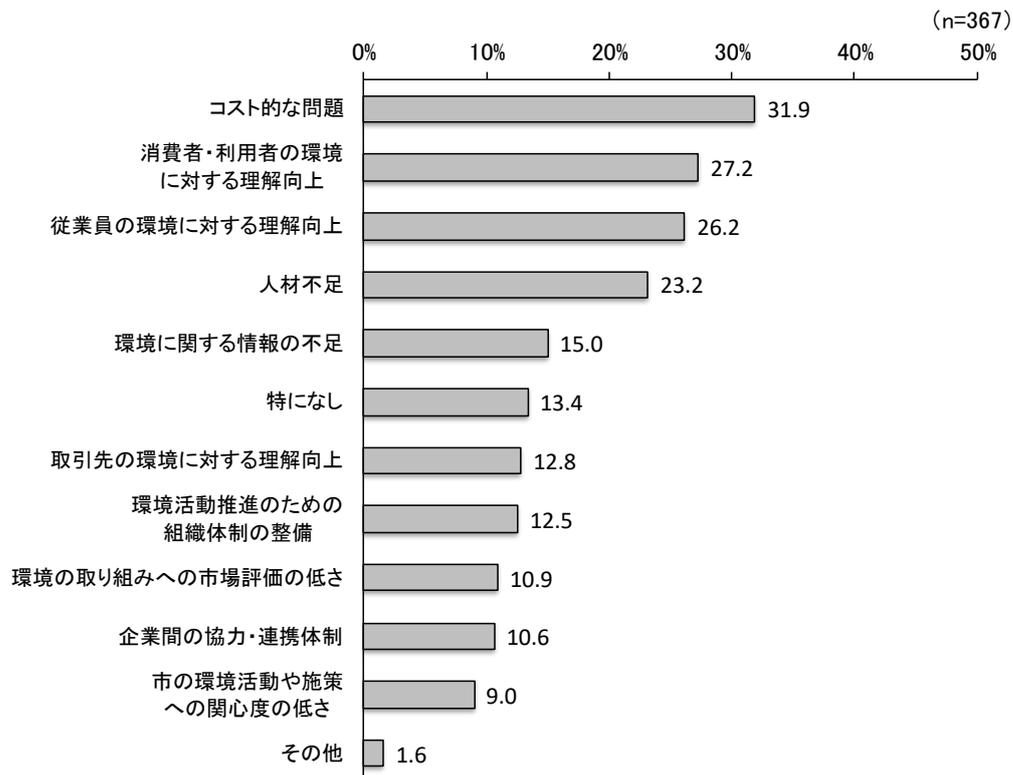
地域の環境のための取り組み内容を聞いたところ、「事業所周辺の清掃活動」が45.8%で最も高く、次いで「特に取り組んでいない」(32.7%)、「地域の清掃、美化、緑化活動などへの参加・協力」(21.3%)となっています。



(3)環境活動の課題

問8 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号をすべて○で囲んで下さい。

環境活動を進めるにあたっての課題について聞いたところ、「コスト的な問題」が31.9%で最も高く、次いで「消費者・利用者の環境に対する理解向上」(27.2%)、「従業員の環境に対する理解向上」(26.2%)となっています。

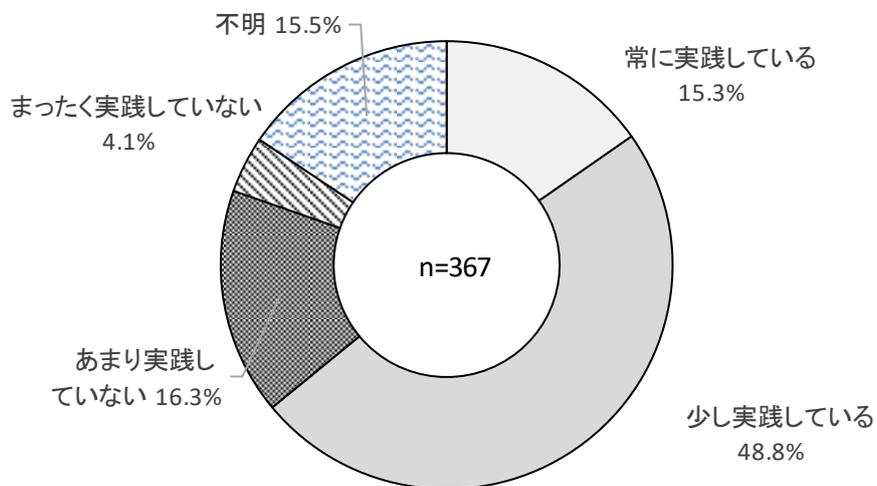


3-3 事業所の地球温暖化対策への取り組みについて

(1)地球温暖化防止対策の実践状況

問9 貴事業所内で省エネルギーなど地球温暖化防止への取り組みを実践していますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

地球温暖化防止への取り組み状況を聞いたところ、「少し実践している」が48.8%、「常に実践している」15.3%で併せて、約6割の事業所が『実践している(計)』と回答しました。

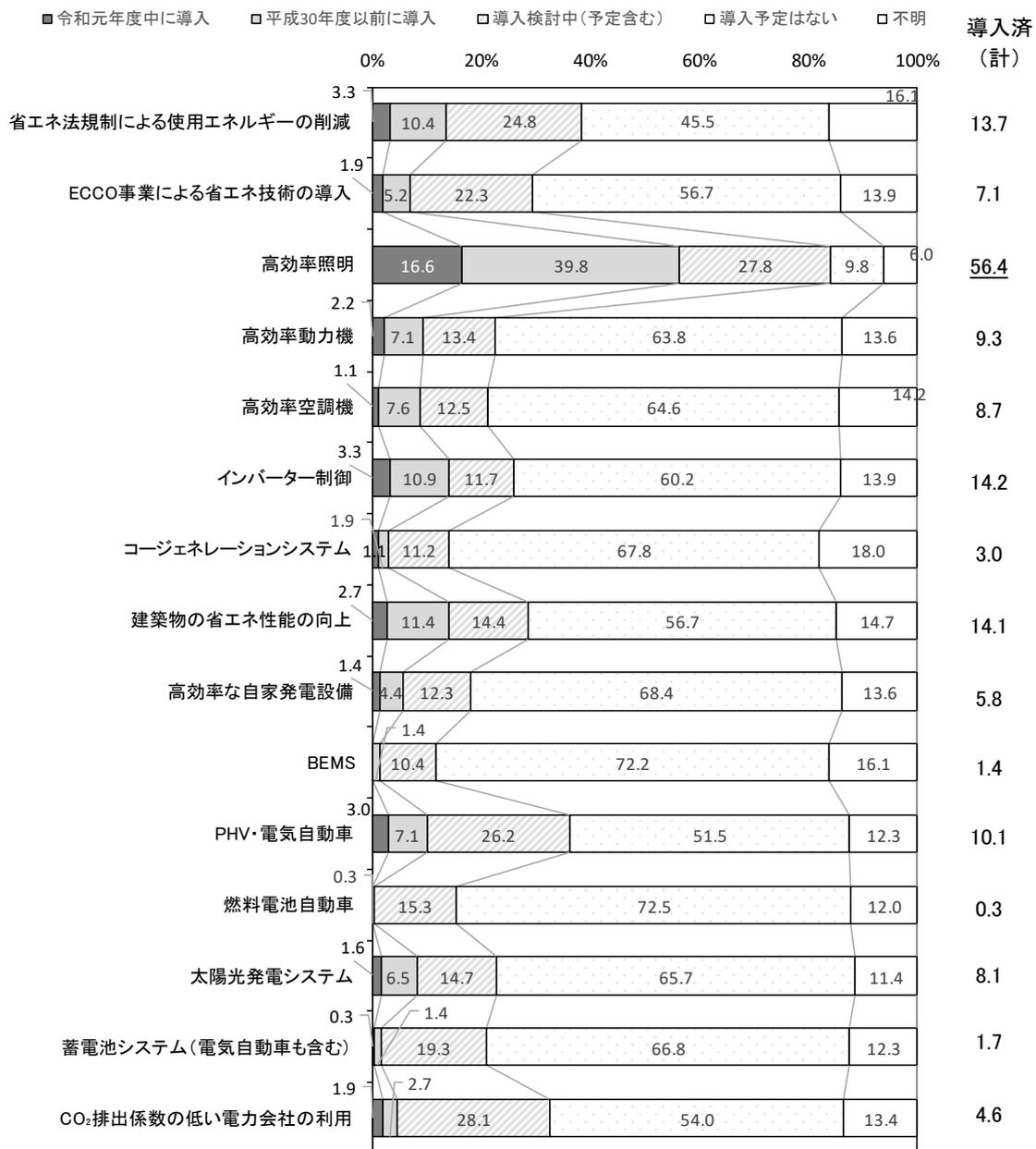


『実施している(計)』:「常に実施している」「少し実施している」の合計

(2)地球温暖化防止機器や設備などの導入状況

問 10 地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。
 また、「導入予定はない」と回答した箇所については、導入しない理由として最も当てはまるものを下欄から選び番号を記入してください。

地球温暖化防止機器・設備などの導入状況を聞いたところ、『導入済（計）』と回答した割合は、LEDなどの「高効率照明」で56.4%と最も高く、次いで「インバータ制御」（14.2%）となっています。一方、高効率照明を除くすべての項目に対し、4割以上の事業者が「導入予定はない」と回答しています。

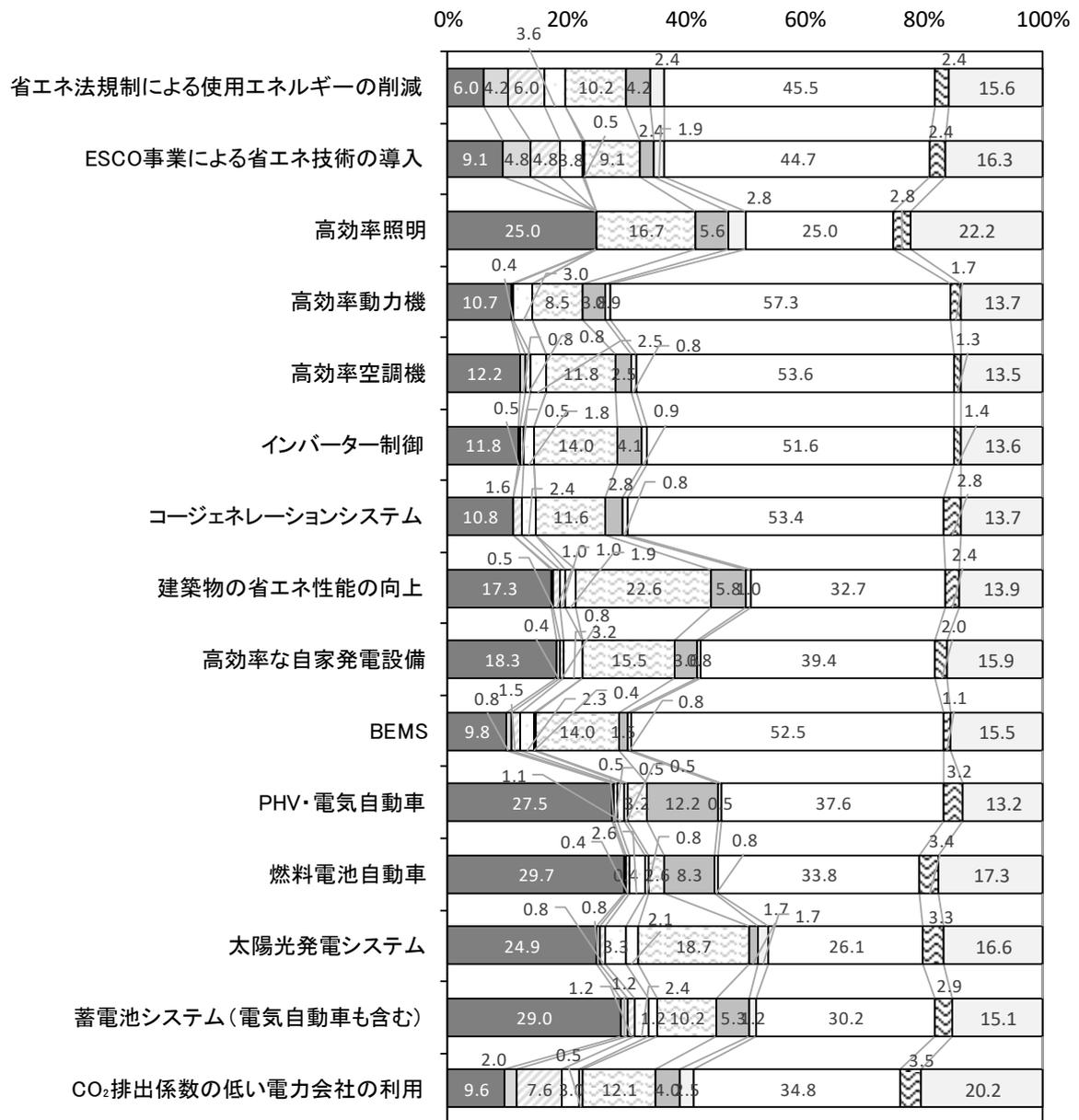


『導入済（計）』:「令和元年度中に導入」「平成30年度以前に導入」の合計

【導入予定がない理由】

導入予定はないと回答した事業者に理由を聞いたところ、全項目に対して「初期コストがかかる」「自社物件ではないため設置が困難」「自社には該当しない」の理由が高い割合を占めています。

- 初期コストがかかる
- 相談窓口がわからない
- 導入に伴う工事で事業活動に支障が生じる
- 機器等の買い替えの時に検討する予定
- 自社には該当しない
- 不明
- 導入を検討する人員が不足している
- 費用対効果の高い設備機器が分からない
- 自社物件ではないため設置が困難
- 省エネルギーに関心がない
- その他

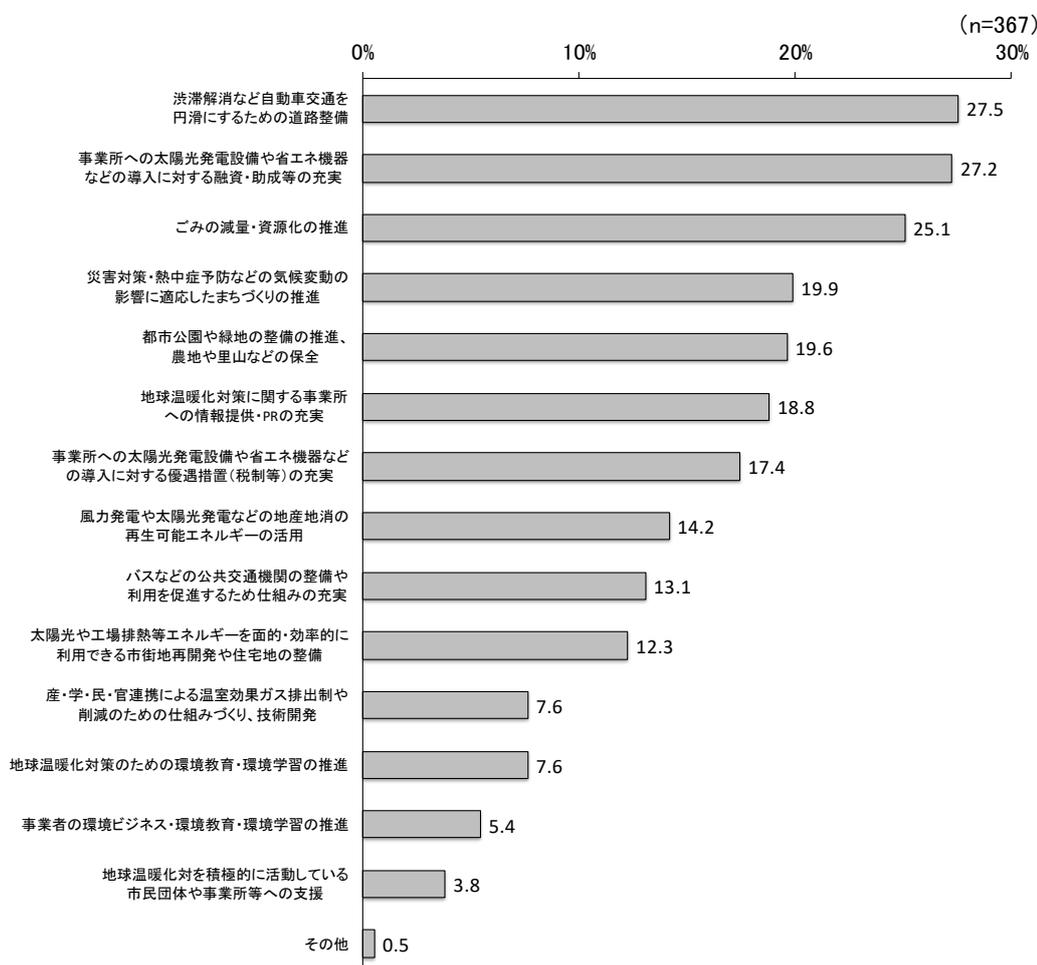


3-4 茅ヶ崎市の環境・市政について

(1)市が重点的に進めるべき地球温暖化対策

問 11 地球温暖化対策について、市が重点的に進めるべきだと思う施策はどれですか。
あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

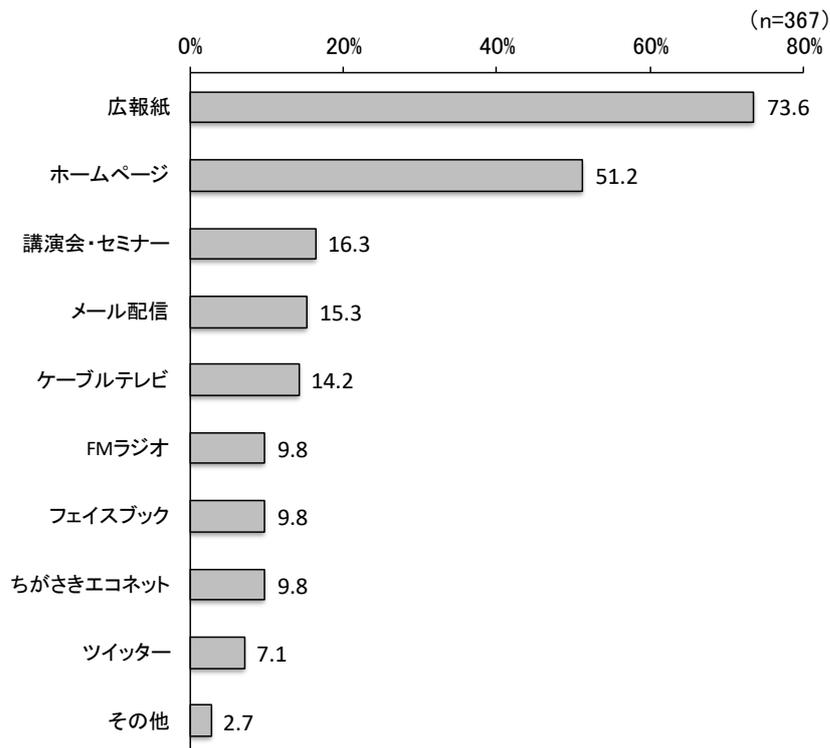
市が重点的に進めるべき施策について聞いたところ、「住宅解消など自動車交通を円滑にするための道路整備」が27.5%で最も高く、次いで「事業所への太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する融資・助成等の充実」(27.2%)、「ごみの減量・資源化の推進」(25.1%)となっています。



(2)望ましい市からの情報提供

問 12 今後、地球温暖化対策に関する知識や情報について、市からどのような媒体を使用して情報提供を行うとわかりやすいですか。あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

市からどのような媒体を使用して情報提供を行うとわかりやすいか聞いたところ、「広報紙」が73.6%と最も高く、次いで「ホームページ」(51.2%)、「講演会・セミナー」(16.3%)となっています。

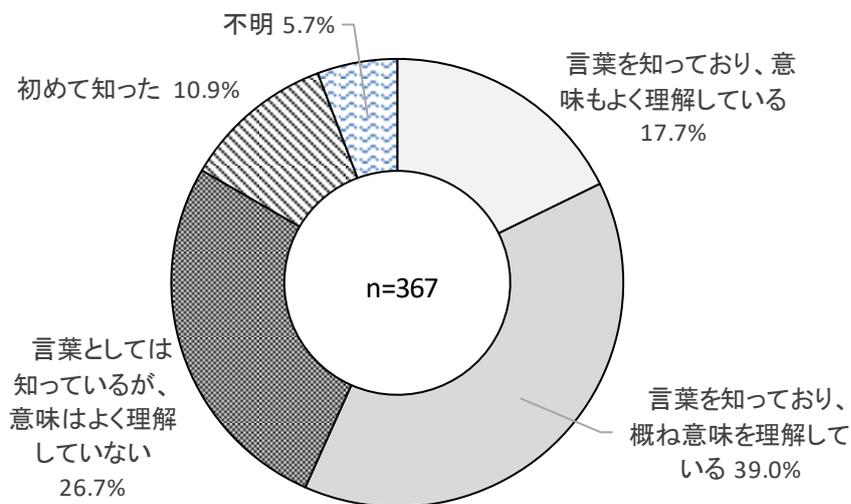


3-5 気候変動への適応の取り組みについて

(1)気候変動への適応の認知度

問13 貴事業所は、気候変動への適応という言葉とその内容を知っていましたか。あてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。

気候変動への適応とその内容を知っているかを聞いたところ、「言葉を知っており、概ね意味を理解している」が39.0%と最も高く、「言葉を知っており、意味もよく理解している」(17.7%)と合わせると約6割の事業所が『言葉を知っており、意味を理解している(計)』と回答しました。

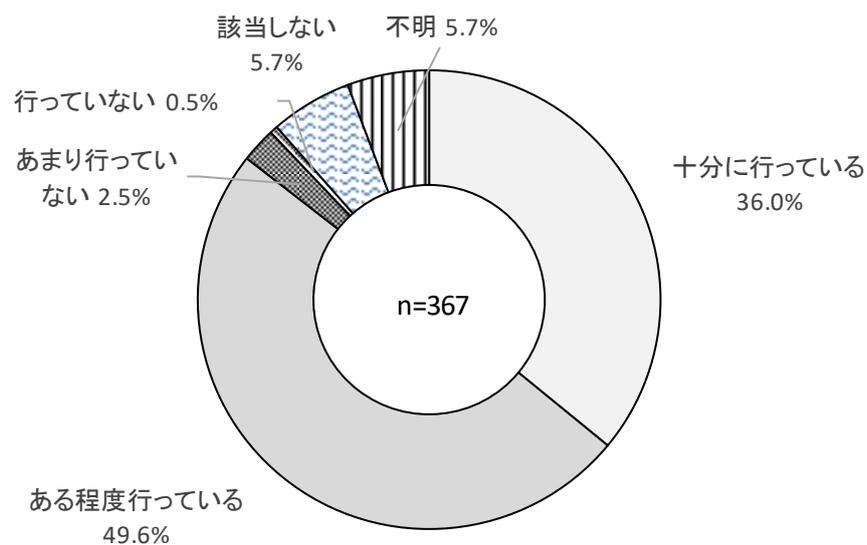


『言葉を知っており、意味を理解している(計)』:「言葉を知っており、意味もよく理解している」「言葉を知っており、概ね意味を理解している」の合計

(2)熱中症対策の実践状況

問14 貴事業所において、暑い時期に従業員に向けて熱中症対策を行っていますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

暑い時期の従業員向けの熱中症対策を聞いたところ、約9割の事業所が『行っている(計)』と回答しました。



『行っている(計)』:「十分にしている」「ある程度行っている」の合計

(3)熱中症対策の具体的な取り組み

問15 貴事業所において、熱中症対策についてどのような取り組みをしていますか。あてはまる番号をすべて○で囲んで下さい。

熱中症対策の取り組み内容について聞いたところ、「水分をこまめにとりよう指導する」が85.3%と最も高く、次に「空調等で温湿度管理をしている」(57.5%)、「透湿性及び通気性の良い服装を着用させる」(37.9%)となっています。一方で暑さ指数に関する項目は、「暑さ指数(WBGT)を確認している」(11.2%)であり、最も低い割合となっています。

